

市民会議活動イメージ ~これまでのグループ討議での検討成果の整理~

| | | Aグループ | Bグループ | Cグループ | Dグループ | これまでの議論のまとめ(案) |
|-----------|-------------|--|---|---|---|---|
| 全体会議の進め方 | | <ul style="list-style-type: none"> 前提条件となることを全体会議で共有してから分科会活動へ(共有したいこと) 4次総計の検証、見直し 現状の把握(算面市、社会情勢) 市の経営状況 財政的な条件の整理 過去の10年とこれからの10年の違い / など | <ul style="list-style-type: none"> 4次総計の総括をしてから分科会活動へ 市民会議としての目標を(9月中) 建物の見学など ブレインストーミングを1月に(市民に意見を聞く前に) | <ul style="list-style-type: none"> 9月中に分科会にわかれる 9月に分科会でアンケートの方法・内容を検討 10月に全体会でアンケート内容をまとめ、調査票を市民に配布 11~12月にアンケート結果を分析 1~2月に提言書案を作成。公開し、意見聴取 3月に提言書完成 | <ul style="list-style-type: none"> 9~10月 <ul style="list-style-type: none"> 人口、財政等の見直し 4次総計の検証 提言内容のおおよその設定 分科会設置についての方針決定 10~3月 <ul style="list-style-type: none"> 各分科会の意見交換 中間報告の準備 | <p>全体会で4次総計の検証(進捗状況、課題など) 今後の社会経済情勢の見直し、提言書のイメージなどについて共有理解を深めたいうえで、分科会の活動を行う。</p> |
| 分科会の進め方 | 設置時期・活動プロセス | | <ul style="list-style-type: none"> 設置時期については様々な意見 - 10~12月に分科会で意見をまとめる - 10~12月に市の問題点を出してから、分科会を設置 | | <ul style="list-style-type: none"> もう少し基本的な議論をしてから分科会を設置 各地域で取り組んでいるグループの人に意見を聞く | <p>全体会議で基本的な事項についての共有が図られた後、分科会活動に入る。</p> <p>分科会の進め方については様々なご意見があり、今後、検討が必要。</p> |
| | 開催回数・頻度 | | <ul style="list-style-type: none"> 開催回数については様々な意見 - 最低週一回 - 部会毎に必要なに応じて開催 | | | |
| | 分科会の分け方・構成 | <ul style="list-style-type: none"> 分け方については様々な意見 - キーワードを並べて希望者の多い順から - 分野・ジャンルごとに分科会を設定してから希望者を募る - 市民の声を吸収する方法を検討する分科会をつくる - 行政の縦割りで分科会をつくるのは面白くない | <ul style="list-style-type: none"> 入りたい部会に入る 複数の部会に入ることも可能 「市民会議の未来について」の分科会 | <ul style="list-style-type: none"> 分け方については様々な意見 - テーマ別・課題別などの分科会 - 政策の分類でわかる - 市民性の育成を考える分科会が必要 - 横割りの分科会が必要 - 提言書の方向性を出した上でそれに基づいた分科会 - 校区単位、地域 アンケートで希望を調査 複数入れる 専門委員に市民会議に出てもらう | <ul style="list-style-type: none"> 日程的に合うメンバーで行う 複数テーマに入れるように 関心のあることをキーワード化、分類し、各分科会に | |
| | 分科会の人数 | <ul style="list-style-type: none"> 分科会にはリーダー的存在が必要 | <ul style="list-style-type: none"> 部会人数については様々な意見 - 人数は多いほうがよい - 1人部会もOK | | | |
| 市民意見の集約方法 | | <ul style="list-style-type: none"> 意見集約の手法はいろいろある それぞれの部会で検討しては | <ul style="list-style-type: none"> 分科会のテーマごとに市民の意見を集約してみる ある程度案として固まったものを、子どもや大人、高齢者に直接会って意見を集める | <ul style="list-style-type: none"> 意見を求めるだけでなく、説明・啓発が必要 直接市民と対話することが必要 すべての市民が関係者 意見の聞きっぱなしにならないように | | <p>具体的な手法について様々なアイデアが出されているが、市民と直接対話していくことが必要という意見が多い。</p> |
| 提言書のイメージ | | <ul style="list-style-type: none"> 基本構想・基本計画レベルの提言書をつくりたい 計画期間をどう設定するか | <ul style="list-style-type: none"> 総合計画の計画案をつくる 行政側の意見ともマッチングさせたもの | <ul style="list-style-type: none"> 市民会議が諮問(案)を作成 策定委員会は不要 | <ul style="list-style-type: none"> 2つの方向性 <ul style="list-style-type: none"> 総合計画市民案の作成 リーディングプロジェクト4つを提言 策定方法についても提言 定量的な目標設定が重要。 | <p>総合計画の案を作成してはどうかという意見が多い。</p> |